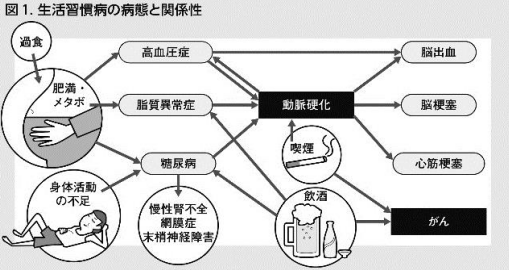
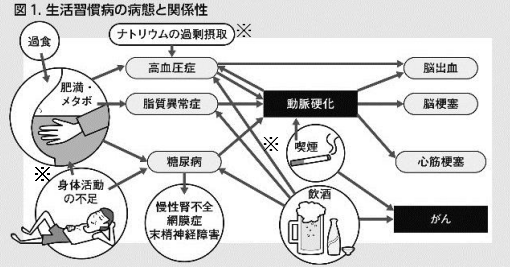


よくわかる高血圧と循環器病の予防と管理 正誤表

本書に誤りがございましたので、お詫びして以下のとおり訂正いたします。

該当頁	誤	正
31	表1③ 血圧高値 収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧95mmHg以上	表1③ 血圧高値 収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
34	【参考文献】 4) 日本動脈硬化学会編:動脈硬化性疾患予防ガイドライン2012年版, 杏林舎, 2012.	【参考文献】 4) を削除する
39	<p>図1. 生活習慣病の病態と関係性</p> 	<p>※「ナトリウムの過剰摂取」を追加する ※「飲酒」から、「高血圧症」へ矢印を追加する ※「身体活動の不足」から、「肥満・メタボ」へ矢印を追加する</p> <p>図1. 生活習慣病の病態と関係性</p> 
45	【参考文献】 4) 厚生労働省保険局:特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き, 厚生労働省, 2013.	【参考文献】 4) を削除する
72	(下段から9行目) おにぎり約2個分	(下段から9行目) おにぎり約3個分
73	図4⑤ 1日あたりに減らすエネルギー量 ÷ 240kcal	図4⑤ 1日あたりに減らすエネルギー量 ÷ 160kcal
77	(上段から13行目) 日本人を対象に行った詳細な栄養調査では、1日分おおよそ10g食塩摂取量の半分以上を和食の高塩分食品から摂取していることがわかった。	(上段から13行目) 日本人を対象に行った詳細な栄養調査では、1日の食塩摂取量のおよそ半分以上を和食の高塩分食品から摂取していることがわかった。
77	(下段から3行目) それ自体は低塩分だが、食塩摂取量と関連する食品について示す。煮物やお浸しで食べる野菜や米飯の摂取量は食塩摂取量の多い者で多い。	(下段から3行目) それ自体は低塩分だが、煮物やお浸しで食べる野菜や米飯の摂取量は食塩摂取量の多い者で多い。

該当頁	誤	正
124	(上段から9行目) また、尿細管での尿酸排泄機能は尿酸排泄率を糸球体濾過率で補正するFEUA(尿酸排出率)が用いられる。	(上段から9行目) また、尿細管での尿酸排泄機能は尿酸排泄率を糸球体濾過率で補正するFE _{UA} (尿酸排出率)が用いられる。
126	(上段から6行目) FE _{ua}	(上段から6行目) FE _{UA}
178	表6 用法・用量(1日量) 生後1か月以上に0.08mg/kg 6歳以上に0.07mg/kg(最高用量20mg)	表6 用法・用量(1日量) 生後1か月以上に0.08mg/kg 【スペースを追加する】 6歳以上に0.07mg/kg(最高用量20mg)
218	(上段から18行目) HOMA-R=空腹時インスリン値×空腹時血糖÷405。	(上段から18行目) (HOMA-R=空腹時インスリン値×空腹時血糖÷405)。【()を追加する】
224	(上段から12行目) …対象集団の年齢構成が標準人口と同じだった場合…	(上段から12行目) …対象集団の年齢構成が基準人口と同じだった場合…
234	奥田 奈賀子 (人間総合科学大学 健康栄養学科 准教授)	奥田 奈賀子 (人間総合科学大学 健康栄養学科 教授)
234	甲斐 久史 (久留米大学医療センター 循環器内科 教授) 第3章 ⑤運動指導のポイント 第4章 ⑪高血圧治療ガイドラインとその考え方	甲斐 久史 (久留米大学医療センター 循環器内科 教授) 第4章 ⑪高血圧治療ガイドラインとその考え方 【第3章を削除する】
234	樺山 舞 (大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻 助教)	樺山 舞 (大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻総合ヘルスプロモーション科学 助教)
235	<新規追加>	原田 晴仁 (久留米大学医療センター 循環器内科 講師) 第3章 ⑤運動指導のポイント